

今号のオフショット



編集後記

4月に大野記念病院企画課へ入職いたしました、長尾と申します。入職して間もない中、初めての業務として広報誌の撮影に携わり、わくわくした気持ちと少しの緊張を抱えながら臨みました。院内を回りながらの撮影では、普段なかなか見ることのできない場所に触れ、自身の撮影も含め、とても貴重な経験となりました。当日は各部署の皆さまが温かくご協力くださり、自然と一体感が生まれる中で撮影を進めることができました。その中で、人と人とのつながりの大切さを改めて実感しました。まだ未熟ではありますが、今回の経験を活かし、この「HOSPICO+」を通して、大野記念病院らしさを地域の皆さまにお伝えしていければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

企画課・長尾

ご意見募集中

「HOSPICO+」への皆さまからの
ご意見・ご感想を募集しております。
下記Googleフォームより
アンケートにお答えください。
お気軽に記入いただけますと幸いです。

 スマホの方はこちらから



 スマホ以外の方はこちらから

<https://forms.gle/DALF3WNIz8gNwi3W8>

HOSPICO+

広報誌「ホスピコプラス」
第3号（2026年5月15日発行）



「HOSPICO（ホスピコ）」は“ホスピタル・コミュニケーション”の略称です。
寿楽会グループが追求していることは、「医療を通じた人々との心のふれあい」であり、
その理念は「HOSPICO／ホスピタルコミュニケーション」という言葉に集約されています。
「HOSPICO+」には、これまで大野記念病院が大切にしてきた理念を土台に、
病院職員、患者さま、そして地域の方々とともに、
新たな価値を創造していくという思いが込められています。

お問い合わせ

企画課

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-26-10
TEL:06-6531-1815 FAX:06-6536-6390

大野記念病院
ホームページ



HOSPICO+

大野記念病院 広報誌 「ホスピコプラス」

Spring

2026.05



特集

大野記念病院がめざす医療の未来

03

地域に根ざし、健やかな未来を支える

地域の皆さまへの
感謝を込めて

平素より大野記念病院の診療ならびに運営に
温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し
上げます。地域の皆さまに支えられ、当院は今日
まで医療活動が続けてまいりました。本誌を通じて、
私たちが大切にしている想いや現在の取り組み
についてお伝えできれば幸いに存じます。

医療環境の変化と
私たちの決意

近年、我が国の医療を取り巻く環境は大きな
転換期を迎えています。少子高齢化の進展、医療
人材の確保、診療報酬制度の改定、医療技術の
高度化など、医療機関にはこれまで以上に柔軟
かつ持続可能な対応が求められています。厳しい
医療情勢の中にあっても、地域に必要とされ
続ける病院であるために、私たちは医療の本質を
改めて見つめ直す必要があると考えています。

基本理念
「最良の癒し」の追求

大野記念病院が掲げる基本理念には、「人々に
最良の癒しを提供する」という言葉があります。

病を治すことはもちろん、患者さまやご家族の不安
に寄り添い、心身の回復を支える存在であること、
その姿勢こそが医療の原点であり、私たちが最も
大切にしている価値です。この理念のもと、職員
一人ひとりが専門性を発揮しながら、温かく質の
高い医療の提供に取り組んでいます。

切れ目のない
地域医療連携の強化

とりわけ当院が力を注いでいるのが、地域医療
連携の強化です。病院が単独で完結する医療に
は限界があり、地域全体で患者さんを支える体制
づくりが不可欠な時代となっています。診療所や
他医療機関、介護施設、在宅医療を担う関係者、
行政機関などと密接に連携し、急性期から回復期、
慢性期、在宅医療へとつながる切れ目のない医療
の実現をめざしています。顔の見える関係を大切
にし、互いに役割を尊重し合いながら地域医療
の質を高めていくことが、当院の重要な使命です。

地域を支える
救急医療体制の充実

また、当院では救急医療の強化にも積極的に取り
組んでいます。急な病気やけがは、誰にとっても
大きな不安を伴います。そうした「いざという時」に、

地域の皆さまが安心して受診できる病院である
ため、救急受け入れ体制の充実や職員の対応力
向上に努めています。地域の医療機関との連携
を図りながら、適切で迅速な救急医療を提供し、
地域医療の最後の砦としての役割を果たして
まいります。

地域とともに歩む
身近な病院へ

さらに、治療だけでなく予防や健康づくりにも
目を向け、健康セミナーや公開講座などのイベント
を通じて、地域の皆さまとの交流を深めていきたい
と考えています。病院を「敷居の高い場所」では
なく、「身近で相談しやすい存在」と感じていただ
けるよう取り組んでまいります。
大野記念病院はこれからも、地域とともに歩み、
地域に貢献する病院であり続けます。今後とも
変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。

社会医療法人 寿楽会
理事長
大野 良晃





外科
丁子 隼也 先生
ちようじ しゅんや

手術の先にある
健やかな明日へ
寄り添う医療

外科を専門として日々の診療にあたっています。単なる手術による治療だけでなく、術後の入院経過や退院後の健やかな生活を見据え、患者さま一人ひとりに寄り添った温かみのある医療を大切にしています。地域医療に貢献できるよう、安心して受診していただけるよう、心地よく過ごせる環境づくりと丁寧な説明を心がけ、継続的なサポートを通じてより良い医療の提供をめざしています。



わかばら ゆい
若原 由依 先生
内科

身体を支える
小さな賢者と向き合い
心に寄り添う

全身の恒常性維持に重要な役割を担い、さまざまな病態と深い関わりを持つ腎臓に魅力を感じ、内科を専攻することを決めました。患者さま一人ひとりに寄り添い、常に最適な医療を提供できる医師をめざしています。日々の診療と学びを大切にし、知識と技術の研鑽に一層努め、信頼される医師になれるように日々精進してまいります。

ひさき ゆき
久木 優季 先生
消化器内科

不安な心に寄り添い
おなかの健康を
優しく守る



消化器内科を専門に診療しております。「おなかの検査は苦しそう、怖い」というイメージを持たれがちですが、検査を身近に感じていただけるよう、患者さまの不安を少しでも和らげられるような、丁寧でわかりやすい診療を心がけております。おなかのことでお困りのことがありましたら些細なことでもお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

泌尿器科
河野 慎司 先生
こうの しんじ

医学への深き情熱を
患者さまへの
日々の診療に注ぐ

医師5年目の泌尿器科の河野です。泌尿器科は排尿に関するお悩みから前立腺や腎臓の病気、がんの診療まで幅広い疾患を扱う診療科であり、その奥深さとやりがいに魅力を感じて日々診療にあたっています。患者さま一人ひとりの不安や悩みに丁寧に向き合い、それぞれの状況に応じた医療を提供できるよう心がけています。安心してご相談いただけるよう、分かりやすい説明と温かい対応を大切にしています。



臨床工学技士

小さな予兆も見逃さず、

医療事故のない現場を静かに守り抜く。

医療機器を介して医師や看護師とともに、安全を形に。機器の保守・管理は、患者さまの安心へと直結する重要で大切な仕事。培った専門知識をチーム全体に巡らせることで、医療事故のない温かな現場を静かに守り抜きます。

profile

北口 祐孝

Yutaka Kitaguchi

(臨床工学技士歴:13年目)

※2026年4月時点

Q 臨床工学技士をめざしたきっかけは？

医療関係の仕事をしたいと色々な職種を調べていたときに、この仕事を知り自分に合っていると思いめざしました。

Q お仕事の中で、一番大切にしていることは？

どんなときでも誠実さを忘れず、責任ある行動と丁寧な対応をすることを心がけています。

Q チームの中で、自分のここが自慢！という役割は？

医療機器の専門知識を活かし、チーム医療を支えながら安全管理に貢献できる点が強みです。

Q 子どもの頃は、何になりたかったですか？

料理人になりたいと思っていました。今は休日に家族に料理を作ったりしています。

Q 最近の楽しみや趣味、休日の過ごし方は？

休日は3歳と1歳になる息子たちと散歩したり公園で遊んだりしています。

Daily work 臨床工学技士の仕事

1 人工透析の専門管理



人工透析装置の適切な操作と状態管理を通じて、患者さまが安全に治療を受けられるよう専門的にサポートします。

2 医療機器の保守管理



院内の医療機器を日常的に点検・整備し、常に安全な状態で使用できるよう適切に保守・管理を行う業務です。

3 手術を支える技術管理



手術中に使用する各種機器の操作や保守管理を適切に行い、安全かつ円滑な手術の進行を技術面から支えます。

2026年度 寿楽会グループの実績

透析患者数

314名

さまざまな手術に対応

透析関連手術件数

163件

・シャント造設手術 40件
・PTA手術 116件
・上腕動脈表在化法 3件
・その他の手術 4件

職員数

64名

・臨床工学技士 30名
・看護師 25名
・事務/助手 9名

多職種による連携

ハーバータウン
クリニック
30床

病床数

82床

大野記念病院

大規模透析

多様な対応が可能

透析実施回数

51,952件

大野記念病院 8,979件(入院)
34,645件(外来)
71件(CHDF)
ハーバータウンクリニック 8,258件

※2026年5月時点の情報です。

Achievement

大野記念病院 院内MAP

MEDICAL
SPACE & TECH

企画課の新入職、
長尾がご案内します！



当院は、地域の皆様に安全で質の高い医療と、
最良の癒しを提供するため、
日夜技術の向上を目指しております。
そのすべては、患者さんの笑顔とより良い未来のために。
進化し続ける当院の医療の今を、
4月から企画課へ入職した新人職員がご紹介します。



大野記念病院って
こんなところ！

最新の医療機器が
整う環境でありながら、人に寄り添う
医療を何よりも大切にしている姿勢が、
大野記念病院の魅力の一つです！

2Fへ移動♪



2F

3. 待合室・診察室

広々とした待合室に多様なデザインの
椅子を配置し、快適な空間に。展示
されている書道作品は、QRコードを
読み込むと迫力あるパフォーマンスが
楽しめます。



3Fへ移動♪

3F

4. 腎臓病センター

82床のベッドがあり、半個室
も4床完備しております。医療
スタッフも充実しており安心して
透析治療が行えます。



4Fへ移動♪

1日の手術件数は
平均6件！！



詳しい
フロアマップは
こちら



4F

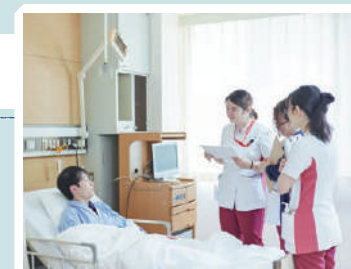
5. 手術室

テレビドラマの世界が
目の前に！！手術支援
ロボット「da Vinci X」や
「Mako」などの最新医療
設備が整っています。



ぜひウェブサイトも
ご覧ください！

GOAL!



5Fへ移動♪

5~10F

6. 病棟

病室はゆとりある空間で、日当たりもよく
患者さまが快適に過ごせる環境となっ
ています。廊下の北側・南側の窓からは南堀江、
道頓堀川の景色を堪能していただけます。



広々としたロビーで
皆さまをお迎えします◎



START!

1F

1. エントランス

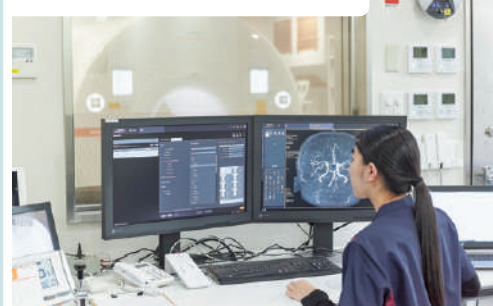
大きなビジョンで、大野記念病院の最新
技術と歴史について詳しく知れます。エン
トランスに設置している水槽には、お魚
がいて癒やしや落ち着きが得られます。



大きなビジョンが
お出迎え！

最新機器を
いち早く導入しています！

MRI装置 MAGNETOM Lumina



CT装置 Aquilion ONE 320列



マンモグラフィー装置
MAMMOMAT B.brilliant



B1

2. 最新検査機器

体への負担が少なく、安心して検査を受け
ていただける最新機器がそろっています。
明るく清潔感のある空間で、リラックス
して検査を受けていただきます。

B1へ移動♪

MIRAI THINKING

100年のその先へ、
みんなで話そうこれからのこと。

次の1世紀、私たちの病院はどう進化する？

現場の職員だからこそ見える「こうなったらいいな」というアイデアや

日々のふとした気づきを自由にディスカッション。

一人ひとりの想いが、病院の未来をつくります。

TALKER.01



理事 院長代行
外科 部長
大谷 博

▶▶ みんなが「とりあえず大野記念病院へGo!」と言える場所に

大野記念病院はみなさんが遠慮なく立ち寄れる、地域密着の24時間動いている病院をめざします。医師を含め職員は、身近な友達です。相談や症状のある方、そして救急車も、みんなが「とりあえず大野記念病院へGo!」と言ってもらえるように全力を尽くします。

....

身近な友達として何でも話せる雰囲気づくり、素敵ですね。

TALKER.02



看護部 部長
沖本 里加

▶▶ 私たちが大切にしたい看護の使命

人間としての尊厳の保持と健康でありたいと願う普遍的なニーズに応えることが、看護師の使命であると考えています。入院・通院中の患者さんだけでなく、地域の方々に寄り添える大野記念病院になっていけたらいいと思います。

尊厳を守り、地域に寄り添う看護を共に形にしましょう。

▶▶ 暮らしを支える切れ目のない薬物治療

患者さんの暮らしを中心に、地域と病院が連携した切れ目のない薬物治療を支えたい。ICTを基盤に機能を広げ、資質を高めながら、チーム医療に新たな価値を届け続けたいです。

TALKER.03



薬剤部 部長
感染管理対策室 室長
浦田 元樹

TALKER.04



内科 部長
リウマチ・膠原病センター センター長
岡本 圭司

....
地域と繋がる薬物治療を共に支えていかないとはいけませんね！

▶▶ 日々の改善を重ね、信頼の医療を紡ぐ

地域の皆さんと職員から信頼され、愛される病院であってほしいと願っています。安全で質の高い医療を提供するために、日々課題を見つめ、改善を重ねながら、誠実に診療に励んでいます。

....
誠実な診療を積み重ね、地域に愛される病院にしていきたいですね。

▶▶ 最新技術と親切心で、笑顔あふれる場所へ

AIを活用することで、診断精度の向上を図り、治療計画を最適化する。さらに職員の親切とまごころで訪れる人々に安心と満足を持って帰ってもらえるような、日々笑顔の大渋滞が発生している病院であればいいと思います。

AIとまごころを大切に、笑顔の絶えない病院をみんなで作りましょう。

TALKER.06



リハビリテーション部 部長
金澤 壽久

▶▶ 「どう生きたいか」に寄り添うリハビリを

「治す」だけでなく、「どう生きたいか」に寄り添う場へ。AIやVRが個々の趣味や生活スタイルをリハビリに反映し、病院が自己実現を支える拠点になる。自分らしさを諦めず、社会とつながり続ける。そんな病院になればいいなあ。

....
最新技術で「自分らしさ」を支え、共に未来を描ける場にしていきましょう！

▶▶ 人型ロボットが彩る、温かな医療風景

少子超高齢化の中、AI診断は必須となり、人型ロボットの活躍も病院の日常風景に変貌していくでしょう。外来で患者さんと話し案内する姿や、診察室に普通にいる気がします。AIやロボットの活用が進む一方で、対話やコミュニケーションを大切にしたい医療は絶やさず心がけたいです。

TALKER.07



診療支援部 副部長
角中 克好

腎臓病センター 部長
正田 英嗣

TALKER.05



1 DAY LIFE STYLE in OHNO

看護師のわたしの1日。

一人ひとりの背景に寄り添い、心を通わせる第一歩として
私は日々の仕事の中で挨拶を大切にしています。
その一言が、信頼を紡ぐ種になります。

看護師 松本 真里亜
(6階病棟・勤務歴4年目)

7:20 起床 ☀️
起床! 歯磨きで目を覚まします。

7:30 準備・朝食 🍴
支度が終わった後に朝ごはん♪定番メニューのごはん・納豆・お味噌汁でエネルギー補給!

8:30 出勤 🚶
病院へ到着! 担当の患者さんの確認や準備、入退院の予定をチェックします!

9:00 午前検温 📋
朝礼から始まり担当の患者さんの回診をします! おむつ交換や体温・点滴確認を行います。

12:00 休憩 🍱
お昼休憩! いつも母の手作り弁当をたべるのがたのしみです!

Job satisfaction

私の仕事のやりがいは患者さんとお話することです。日々の何気ない会話から気持ちを汲み取り、入院期間を安楽に過ごしていただけるように看護師同士で協力しながら仕事に取り組んでいます。なかには入院がストレスに感じる患者さんもいらっしゃいますが、コミュニケーションを取り、少しでも患者さんの不安緩和に努める事が私のやりがいです。

丁寧な指導が 息づく職場

Message

新卒で入職した当時の私は、資格はあっても分からないことだらけ。そんな私を見捨てず、先輩方はいつも丁寧に支えてくれました。昨年は私もプリセプターとして、後輩を育てる楽しさを実感したところです。最初は誰でも不安で当たり前なので安心して下さい。一緒に悩み、学び、成長できる仲間がいます。ぜひ、当院で楽しく働きましょう!

午後検温 🩺 13:00

午後の回診をします! 検温や処置・保清を行います。

退勤 🏠 17:15

定時退勤をめざし、記録作業を進めていきます。翌日の準備まですることが本日の業務です!

帰宅 🏠 18:00

帰宅したら趣味のバレーボールに行く準備をします♪バレーボールがない日は映画観賞やゲームをします!

バレーボール 🏐 19:00

約2時間ほど地域のチームの練習に参加♪いい汗を流します!

夕食・お風呂 🛀 22:30

練習から帰宅後、シャワーに直行! そのあとゆっくり夕食タイム◎

就寝 🌙 24:00

明日もがんばろうと思いつつ就寝します。おやすみなさい!



OFF

身体を動かすことが好きで、小さい時からしていたバレーボールを今も継続しています! 地域のチームに所属しているので多い時は週4になることも…。勤務終了後に練習へ行くこともあります!

My Profile



大野記念病院に勤務して4年目です。主に日々メンバーをまとめるなどの業務リーダーとして働いています。患者さんが少しでも安心して過ごせるように精一杯努めています。

- ハマっていること (バレーボールとコーヒー巡り)
- 子どもの頃の夢 (介護士さん)
- 最近の楽しみ (DVDやライブ、テレビ鑑賞)



対話から紡ぎ
心を通わせる看護

Focus ON Ohno!

広がる、つながる。
大野記念病院の活動レポート。

1

CLOSE UP! 診療科等開設

リウマチ・膠原病センターの開設

リウマチ性疾患や膠原病に悩む患者さまに寄り添い、安心して治療を受けていただくため、2025年10月にリウマチ・膠原病センターを開設しました。専門医4名が患者さまとの対話を重視しながら、検査から早期治療、合併症対策まで包括的に提供し、安心して受診できる体制づくりに努めています。



CLOSE UP! 地域貢献

「未来の医療を創る OHNOプロジェクト」 中学生職業体験イベント

地域社会への貢献と次世代の医療人材育成を目的に、西区の中学生を対象とした「未来の医療を創るOHNOプロジェクト」を開催しました。ユニフォームを着用し医療体験に挑戦する事で、医療を身近に感じ、「将来を考えるきっかけになった」と多くの声をいただきました。



2

4

CLOSE UP! ツール導入

RPAで 業務効率化を実現

6

CLOSE UP! ツール導入

ダッシュボードで 経営見える化

電子カルテに蓄積されたデータを活用し、経営指標や運営状況をリアルタイムで把握できるダッシュボードを導入しました。病床稼働率や患者動向などをグラフや数値で可視化することで、迅速な病床コントロールや的確な意思決定につなげています。現場と経営層が同じ情報を共有することで、より効率的で質の高い医療提供をめざしています。



5

CLOSE UP! AI活用

生成AIで文書作成を効率化

生成AIを活用し、診療情報のサマリ作成や会議の議事録作成の効率化を進めています。これまで時間を要していた文書作成業務を迅速かつ一定の品質で行えるようになり、職員の負担軽減と業務の標準化を実現しました。作成された内容は職員が確認・修正することで精度を担保しつつ、質の高い医療提供につなげています。今後も安全性に配慮しながら活用を拡大していきます。

一歩ずつ、理想の病院へ。
大野記念病院では、医療の未来、
そして地域の未来を創るための
さまざまな取り組みを行っています。



CLOSE UP! ツール導入

モバイル電子カルテを導入

iPhoneを活用したモバイル電子カルテを導入しました。場所を選ばずカルテの参照や記載ができ、業務の効率化と迅速な情報共有を実現しています。写真撮影や音声入力、バイタルデータの取り込みなどの機能により、現場での記録業務の負担軽減にもつながっています。今後もICTを活用し、より安心安全な医療現場をめざしています。

7



CLOSE UP! 設備・機械導入

マンモグラフィ検査の更新

乳がんの早期発見から精密検査、診断後のフォローまで一貫した診療体制の構築をめざし、2026年3月にSIEMENS Healthineers社製「MAMMOMAT B.brilliant」を導入。高精細・低被ばく線量に加え、痛みに対応したやさしい乳房撮影が可能になりました。3D撮影（トモシンセシス）により微細な病変も見逃しにくく、日本人に多い高濃度乳腺にも対応し、安心できる診療体制を整えています。





セミナー	4/10(金) ●腎臓病教室	5/23(土) ●健康セミナー	6/27(土) ●ドクターセミナー	7/10(金) ●腎臓病教室	8/22(土) ●健康セミナー	9/12(土) ●ロコモセミナー	10/9(金) ●腎臓病教室	11/28(土) ●健康セミナー	12/26(土) ●ドクターセミナー	1/8(金) ●腎臓病教室	2/27(土) ●健康セミナー	3/13(土) ●ロコモセミナー
	4/25(土) ●健康セミナー			7/25(土) ●健康セミナー		9/26(土) ●ドクターセミナー	10/24(土) ●健康セミナー			1/23(土) ●健康セミナー		3/20(土) ●ドクターセミナー

イベント			6/14(日) ●大野記念病院 健康フェスティバル	7月 ●川柳コンテスト			10月 ●フォトコンテスト 応募	11月 ●フォトコンテスト 投票	12月 ●未来の医療を創る OHNOプロジェクト			3月 ●世界腎臓デー in南堀江

大野記念病院 健康フェスティバル

6/14(日)

10:00-15:00

堀江中学校吹奏楽部による楽しい演奏や、西警察署による防犯講座など、地域のさまざまな団体の皆さまと連携した、楽しく学べる企画を多数ご用意しています。さらに、健康をテーマにした体験ブースも設置し、音楽の感動とともに、ご自身やご家族の健康を考えるきっかけとなる1日にできればと考えています。



ロコモセミナー

2027年
9/12(土), 3/13(土)

10:00-11:00

ロコモティブシンドロームについての正しい知識や、予防のための運動・生活習慣のポイントをセラピストがお伝えします。

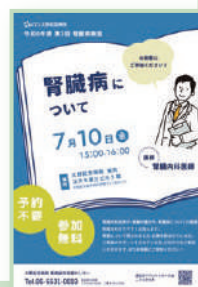


腎臓病教室

第2 金曜日 (3ヶ月ごと)

15:00-16:00

腎臓病に関する正しい知識や、適切な自己管理ができるよう各専門職がサポートします。



未来の医療を創るOHNOプロジェクト

12月

南堀江に住む中学生を対象に、将来の夢を後押しする「夢をかなえるプロジェクト」として開催する職業体験イベントです。医師や看護師、セラピストなどの多様な医療職について、専門的な体験を通して学び、理解を深めていただければと考えています。普段なかなか経験できない医療現場の体験を楽しみながら、自分自身の将来の夢をより具体的に思い描くきっかけとなることを願い、取り組んでいます。



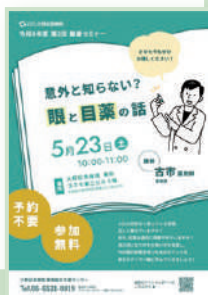
健康セミナー

毎月 第4 土曜日

(6・9・12・3月は開催なし)

10:00-11:00

疾病予防の方法や日々の健康管理に役立つ情報を、毎月各専門職が皆さまにお届けします。



ドクターセミナー

第4 土曜日 (3ヶ月ごと)

地域の皆さまを対象に、当院の医師が直接講師となり、病気の予防や治療、日常の健康管理について分かりやすく解説する健康セミナーです。専門的な内容も身近な例を交えてお伝えし、健康について考えるきっかけとなる機会をめざしています。どなたでもお気軽にご参加ください。



世界腎臓デー in南堀江

2027年 3月

世界腎臓デーにあわせ、腎臓病について考えるイベントです。医師や管理栄養士等による分かりやすい講義に加え、健康状態を測定できる体験ブースもご用意しています。ご自身の健康を見つめ直す機会として、ぜひご参加ください。



参加方法

予約なしで参加できますよ！



事前予約不要

入場無料

※検診においては別途費用をいただきます。

開催場所は当院内で
詳しい場所や最新情報は
ホームページでお知らせします。



理事長と大谷先生が語る、 大野記念病院のこれから。

Yoshiteru
Ohno



Hiroshi
Ohtani



“

大野良晃理事長が就任して1年。

この4月に院長代行に就任した大谷先生とともに、
ざっくばらんにこの1年間を振り返っていただきました。

”

地域から選ばれる病院へ

伝統の重みを基盤に 更なる成長への歩み

理事長 1924年の創業から、この南堀江の地で102年。これほど長く大野記念病院を続けて来れたことは、本当に誇り高いことだと思っています。ただ、昨年理事長に就任してから歴史の重みと責任の大きさを感じています。



それでもなんとか踏ん張って来れたのは、地域の皆さまや職員に支えてもらったおかげだと、改めて実感しています。

院長代行 理事長が常に先頭に立って、厳しい環境の中でも「もっと良くしよう!」と病院を牽引されるお姿は、とても頼もしかったです。私自身も、「こ

の病院を前に進めたい」という一心で過ごした1年でした。

厳しい環境下で見た 地域とつながる一步

理事長 経営環境は年々厳しさを増しています。救急医療や急性期医療に力を入れ、病床稼働率を高く維持していますが、なかなか黒字化は簡単ではないのが現状でした。それでも、職員一丸となって目標に向かえたことは、数字以上に大きな成果だったと思っています。そんな中、昨年は地域向けのイベントもいくつか実施しました。「こんな忙しい時期にやるの?」なんて声や視線もありましたが(笑)、病院の新しい役割として大きな一歩になったと感じています。

院長代行 そうですね。地域向けイベントの準備の時に職員が楽しそうに取り組んでいたのが印象的でした。私は残念ながら参加できなかったのですが…後で写真を見て、「楽しそうだな」ってちょっと悔しくなりましたよ(笑)。今年度はぜひ、私もどこかで参加したいです。それにしても、セミナーの回数もすごかった。毎月、掲示板を見るたびに「今月もやってるな」と感心していました。



医師が直接届ける安心感 広がる健康セミナー

理事長 健康セミナーを担当してくれている先生方や職員の皆さまのおかげ



です。今年度は医師が講師を務める機会をさらに増やす予定です。やっぱり医師が自分の言葉でお話しするのは、地域の方々の安心感につながりますからね。ざっと振り返ってコロナ禍で溜まっていたものを、昨年度は一気に出した1年でしたね。そこで大谷先生。ぜひ今年度は、先生にもセミナーの教壇に立っていただければと。

院長代行 …もしや、「腹腔鏡(ふくうきょう)のお話」ですかね(笑)。

理事長 はい、逃げ道は用意していません(笑)。きっと地域の皆さまにも興味を持ていただけるはずですよ。

院長代行 そこまで言っていたいたので…ぜひ協力させてください。腹腔鏡の話は好きですし専門分野です。熱く

なってしまうかもしれませんが(笑)、皆さんと一緒に楽しめる場にしたいな、と思います。やはりこうした取り組みを通じて感じるのは、病院の役割が本当に変わってきたということですね。ただ治療するだけでなく、地域に開かれ、気軽に足を運んでもらえる存在であることが求められているのだと感じます。

地域になくてはならない 誇れる病院へ

理事長 まさにその通りですね。地域に開かれることは、持続可能な運営のためにも欠かせません。昨年、みんなで検討したビジョンも「南堀江になくてはならない病院へと成長し、職員が誇りを持てる病院をめざす」という言葉

に集約しました。職員が誇りを持ち、地域の皆さまに受け入れられ、喜ばれる病院でありたいと考えています。

院長代行 本当に僕もそう思います。そうでなければ、この先50年、100年と維持していくのはそう簡単なことではありませんよね。微力ですけど、院長代行としてしっかり支えていきたいと思っています。

理事長 いえいえ、大谷先生「微力」だなんて(笑)。これからもぜひ“大きな力”で後押ししてください。今年度は診療報酬の改定もあり、大きな変化の年になります。102年の伝統を大切に守りながらも、新しい挑戦を恐れずに、地域の皆さんに愛される「開かれた病院」を、一緒に作っていきましょう。

